帖	亡	調	本	ÆΙ	Y	票
무류		市店	台	11山1	Λ	=

新規		更新
----	--	----

330-2 先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 (先天性声門下狭窄症)

行政記	載	欄
1 7 MU	77	IPN

受給者番号					判定結果	□ 認定	□ 不認定
■ 基本情報							
姓 (かな)					名 (かな)		
姓 (漢字)					名(漢字)		
郵便番号							
住所							
生年月日		西暦		年	Д		日 *以降、数字は右詰めで記入
性別		□ 1.男		<u> </u>	女		
出生市区町村							
出生時氏名		姓 (かな)				名 (かな)	
(変更のある場	場合)	姓(漢字)				名(漢字)	
		□ 1. あり			□ 2.なし		□ 3. 不明
		発症者続柄					
		□ 1.父		<u> </u>	<u> </u>	□ 3.子	□ 4. 同胞(男性)
		□ 5. 同胞(女性) □ 6. 祖父(父方) □ 7. 祖母(父方)			□ 7.祖母(父方)		
家族歴		□ 8. 祖父(母方) □ 9. 祖母(母方) □ 10. いとこ					
		□ 11. その他 *11 を選択の場合、以下に記入					
		続柄					
発症年月		西暦		年	Д		

社会保障						
介護認定	□ 1. 要介護	□ 2. 要支援	<u>2</u> 3	.なし		
要介護度	□ 1 □ 2	3	4	<u> </u>		
生活状況						
移動の程度	□ 1. 歩き回るのに問題□ 3. 寝たきりである	題はない	□ 2.いくらか問題	がある		
身の回りの管理	□ 1. 洗面や着替えに「□ 3. 自分でできない	問題はない	□ 2.いくらか問題	がある		
ふだんの活動	□ 1. 問題はない□ 3. 行うことができる	<i>†</i> \$\\	□ 2.いくらか問題	がある		
痛み/不快感	□ 1.ない	□ 2. 中程度	Eある 3	.ひどい		
不安/ふさぎ込み	□ 1. 問題はない□ 3. ひどく不安あるい	ハはふさぎ込んでい	□ 2. 中程度			
■ 診断基準に関する A. 症状	3事項					
1. 気道狭窄による呼吸	1. 気道狭窄による呼吸困難の症状がある					
□ チアノーゼ発	作 無呼吸	発作				
2. 二次性ではない		□ 1.該当	2. 非該当	□ 3. 不明		
3. その他の症状						
□ 喘鳴 □ 陥没呼吸 □ 発声困難						
□ 反復する呼吸器感染 □ 栄養障害に伴う精神運動発達遅延 □ 聴力障害						
4. 合併症		□ 1. 該当	2. 非該当	□ 3. 不明		
□ 手術後の肉芽	形成 二 手術後	後の再狭窄	□ 慢性肺障	害		
□ 気管支喘息	□ 逆流h	生食道炎				

B. 検査所見 */	数点も1文字として記入	する			
1. 頚部の以下のいす 軟骨に一致した声	「れかの検査で輪状 『門下に狭窄を認める	□ 1.該当	□ 2. 非該当	□ 3. 不明	
□ 単純 X 線撮	影(気道条件)	□ 内視鏡検査	3D-	CT	
2. その他の検査所見	L	□ 1.該当	□ 2. 非該当	□ 3. 不明	
■ 輪状軟骨の	形成異常(過形成)				
<診断のカテゴリー	->				
Definite: AO1,	2、Bの1を全て満たす		□ 1.該当] 2. 非該当	
症状の概要、経過、	特記すべき事項など	*250 文字以内か	ゝつ 7 行以内		
■ 治療その他					
薬物療法					
ステロイド	□ 1. 実施	2. 未実施			
71) E-1 1	治療効果 1.改	善 2.7	「変 □ 3. 悪化	□ 4. 不明	
	□ 1. 実施	□ 2. 未実施			
その他	薬物名				
	治療効果 1.改	善 2.7	下変 3. 悪化	□ 4. 不明	
その他の治療					
酸素療法	□ 1. 実施	□ 2. 未実施			
HAZIN/ANIA	治療効果 1. 改	善 2.7	▽変 3. 悪化	□ 4. 不明	
気管挿管	□ 1. 実施	□ 2. 未実施			
大(目1甲目	治療効果 1.改	善 2.7	一変 3. 悪化	□ 4. 不明	

.3.1 \ <u>.</u>	□ 1. 実施	□ 2. 未実施					
バルーン拡張	治療効果	□ 1. 改善□ 2. 不変	□ 3. 悪化 □ 4. 不明				
ステント留置	□ 1. 実施	2. 未実施					
八八〇十田巨	治療効果	□ 1. 改善□ 2. 不変	□ 3. 悪化 □ 4. 不明				
1 n-5n17 // / ru	□ 1. 実施	□ 2. 未実施					
人工呼吸管理	治療効果	□ 1. 改善□ 2. 不変	□ 3. 悪化 □ 4. 不明				
	□ 1. 実施	□ 2. 未実施					
気管切開管理 	治療効果	□ 1. 改善□ 2. 不変	□ 3. 悪化 □ 4. 不明				
	□ 1. 実施	2. 未実施					
手術	方法	□ 気管形成(輪状軟骨前方切開術)	□気管形成(自家肋軟骨移植)				
1 111	7714	□ 切除、気道再建	□ その他				
	治療効果	□ 1. 改善□ 2. 不変	□ 3. 悪化 □ 4. 不明				
	□ 1. 実施	□ 2. 未実施					
その他	治療名						
	治療効果	□ 1. 改善□ 2. 不変	□ 3. 悪化 □ 4. 不明				
■ 重症度分類に関 modified Rankin S							
□ 0. まったく症候がない							
□ 1. 症候はあっても明らかな障害はない(日常の勤めや活動は行える)							
□ 2. 軽度の障害(発症以前の活動がすべて行えるわけではないが、自分の身の回りのことは介助なしに行える)							
□ 3. 中等度の障害(何らかの介助を必要とするが、歩行は介助なしに行える)							
□ 4. 中等度から重	□ 4. 中等度から重度の障害(歩行や身体的要求には介助が必要である)						
□ 5. 重度の障害 ((寝たきり <i>、5</i>	□ 5. 重度の障害 (寝たきり、失禁状態、常に介護と見守りを必要とする)					

呼吸						
□ 0. 症候なし	□ 0. 症候なし					
□ 1. 肺活量の	の低下などの所見はあるが、	社会生活・日常生活に	支障ない			
□ 2. 呼吸障害	手のために軽度の息切れなど	の症状がある				
3. 呼吸症状	さが睡眠の妨げになる、あるい	いは着替えなどの日常	生活動作で息切れが生じる			
□ 4. 喀痰の吸	め 引あるいは間欠的な換気補助	助装置使用が必要				
5. 気管切開	引あるいは継続的な換気補助 っ	装置使用が必要				
■ 人工呼吸器	景に関する事項(使用者の	み記入)				
使用の有無	1. あり),·Hu/ ()				
開始時期	西暦	手 月				
離脱の見込み	□ 1. あり □ 2. なし					
15.47	□ 1. 気管切開孔を介した人工呼吸器					
種類	□ 2. 鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器					
施行状況	□ 1. 間欠的施行	□ 2. 夜間に継続的	に施行			
地114人化	□ 3. 一日中施行	□ 4. 現在は未施行	<u>-</u>			
	食事	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助			
	 車椅子とベッド間の移動	□ 自立	□ 軽度介助			
	単何丁とハット同の移動	□ 部分介助	□ 全介助			
	整容	□ 自立	□ 部分介助/不可能			
化泛 化汩	トイレ動作	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助			
生活状況	入浴	□ 自立	□ 部分介助/不可能			
	上行	□ 自立	□ 軽度介助			
	歩行	□ 部分介助	□ 全介助			
	階段昇降	□ 自立	□ 部分介助 □ 不能			
	着替え	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助			

	排便コントロール	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助
	排尿コントロール	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助
医療機関名				
指定医番号				
医療機関所在地				
電話番号			*ハイフンを	除き、左詰めで記入
医師の氏名			印 ※自	筆または押印のこと
記載年月日	西曆	年	Ħ	

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても 差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近6か月間で最も悪い 状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、 「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成 26 年 11 月 12 日健発 1112 第 1 号健康局長通知) を参照の上、 ご記入ください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。